

---

# valuedesign

2020年6月期第一四半期  
決算補足説明資料

---

2019年11月13日  
株式会社バリューデザイン

1. 2020年6月期第一四半期 決算報告

2. 事業の進捗状況

売上高16%Up、前期投資の費用増を吸収し概ね計画通りのスタート

連結売上高	： <b>558</b> 百万円	前期比 +16.1%	進捗率 24.3%
連結営業利益	： <b>0.1</b> 百万円	前期比 ▲2.9百万円	進捗率 -

## ■ 2020年6月期 第一四半期トピックス

### ① ハウスプリペイドの好調継続

- ・前期投資による営業体制増強、見直しにより新規/既存顧客へのアプローチを強化。チャージ機等の追加商材販売好調により初期売上も増加
- ・入金/利用も引き続き好調、9月は各顧客企業での駆け込み需要等もあり入金額400億円超

### ② VDゲートウェイ（コード決済接続）は主要なコード決済サービスに対応

- ・主要なQR等コード決済サービスとの接続を開始、7社のサービスに対応
- ・今後は既存顧客を中心に導入企業を拡大、ハウスプリペイドとの相乗効果を期待

### ③ キャッシュレス・消費者還元事業への対応を順次スタート

- ・10月より30社超の既存顧客にてハウスプリペイドでの消費者還元をスタート
- ・以後も対応企業は順次追加し、ハウスプリペイドの利用増加効果を期待

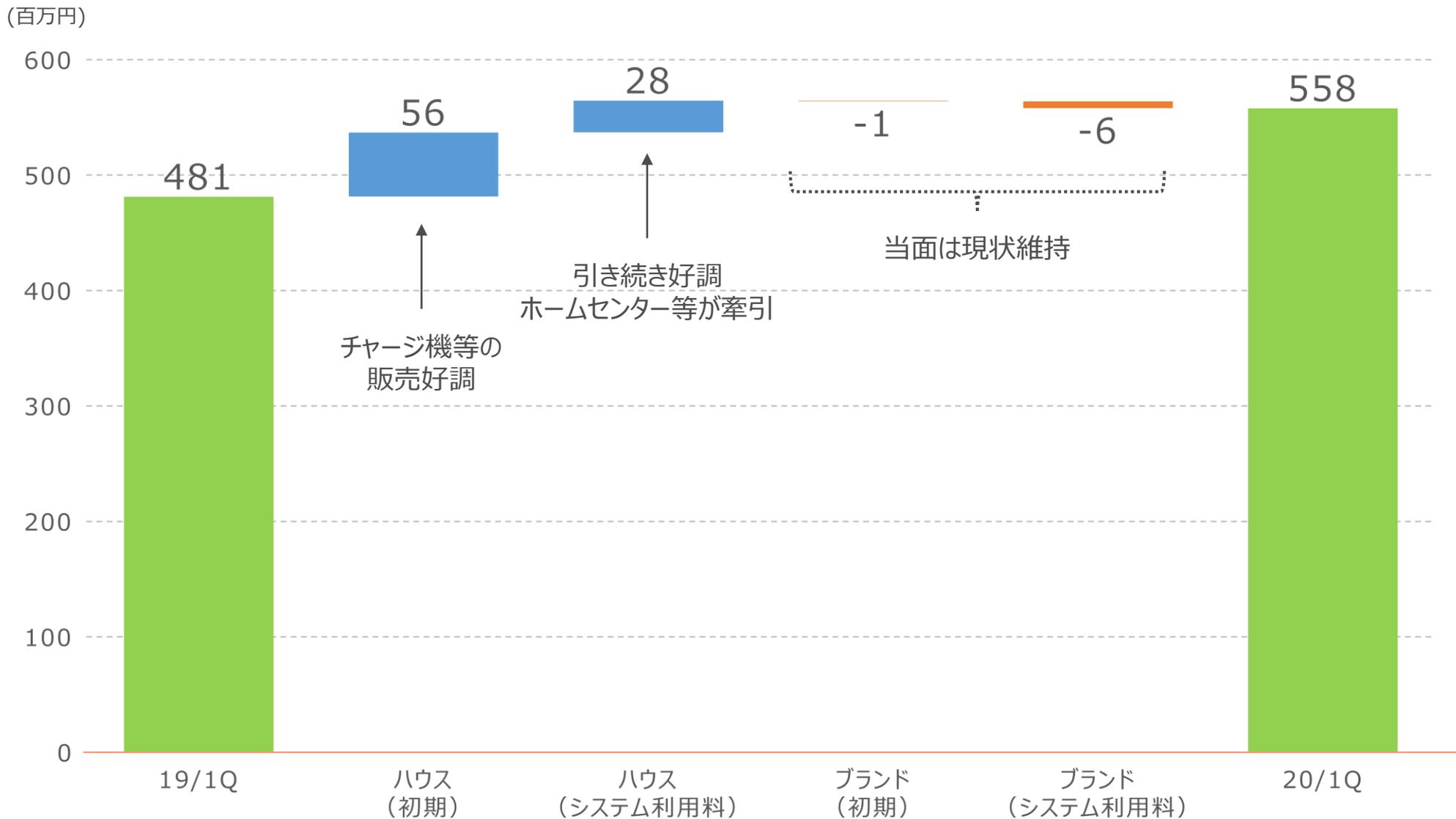
# 連結P/L（2020年6月期 第一四半期）

システム利用料は堅調、その他項目も概ね見込み通りで業績進捗は順調

2Q以降、システム利用料売上の増加等で前期投資＋経常のコスト増を吸収・超過し単年度は黒字化へ

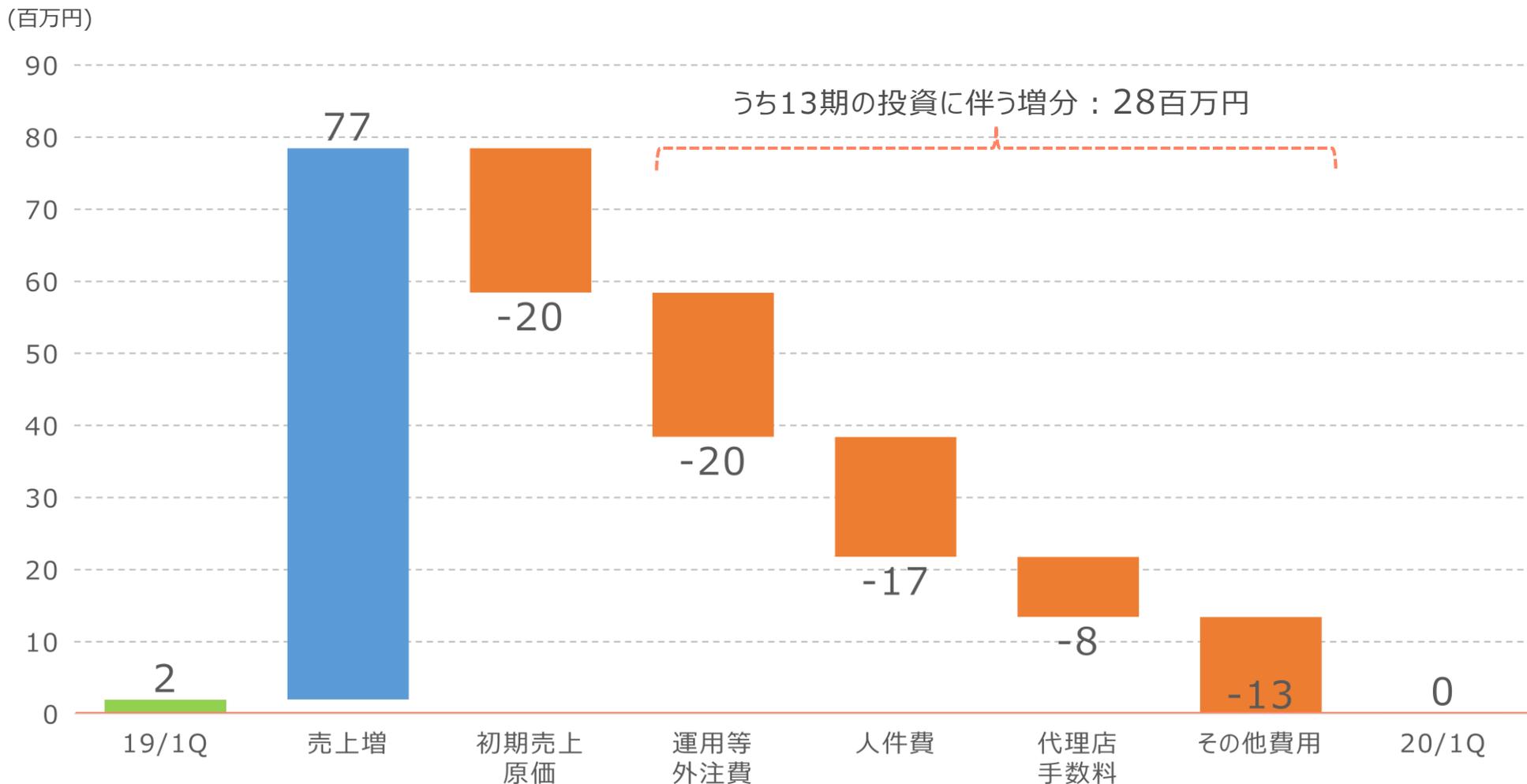
	実績		前期比		通期進捗率	
	① 2020年6月期 第一四半期 (実績)	② 2019年6月期 第一四半期 (実績)	前年同期比 (①÷②)		③ 2020年6月期 (予想)	進捗率 (①÷③)
売上高	558	481	116.1%		2,295	24.3%
(初期売上)	209	156	134.3%		813	25.7%
(システム利用料売上)	349	325	107.3%		1,482	23.5%
営業利益	0.1	2	▲95.3%		53	0.3%
経常利益または経常損失	▲4	0	▲4百万円		43	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益または 四半期純損失	▲8	0	▲8百万円		1	-

# 連結売上高の変動要因（前期比）



# 連結営業利益の変動要因（前期比）

1Qで営業損益はイーブン、コスト面は期末まで大幅な増加の予定はなし。一方でシステム利用料は例年期末に向け増加していくため、その粗利増にて今期計画の営業利益を確保予定



1. 2020年6月期 第一四半期 決算報告

2. 事業の進捗状況

## 事業別業績：ハウスプリペイド

営業体制の再構築等により、新規受注による初期売上が好調、システム利用料も堅調  
セグメント利益は13期投資による固定費増（人材やオフィス環境等）の影響もあり微増

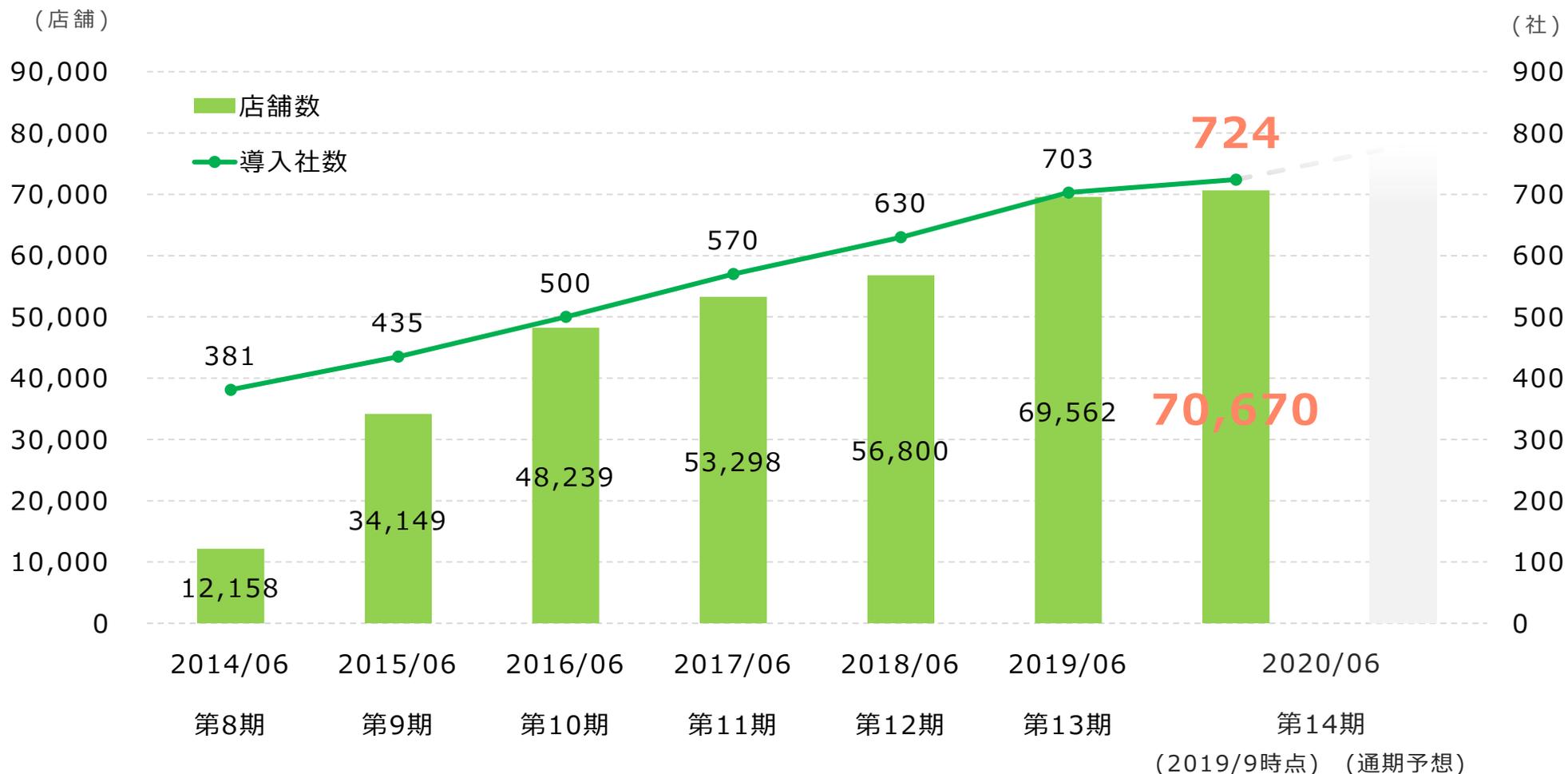
(百万円)

	① 2020年6月期 第一四半期	② 2019年6月期 第一四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	520	436	119.3%
(初期売上)	209	155	134.9%
(システム利用料売上)	311	281	110.6%
セグメント損益	83	77	107.5%

# ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

順調に拡大し、導入店舗数は7万店舗に到達、導入社数は724社

## <累計導入店舗数の推移>

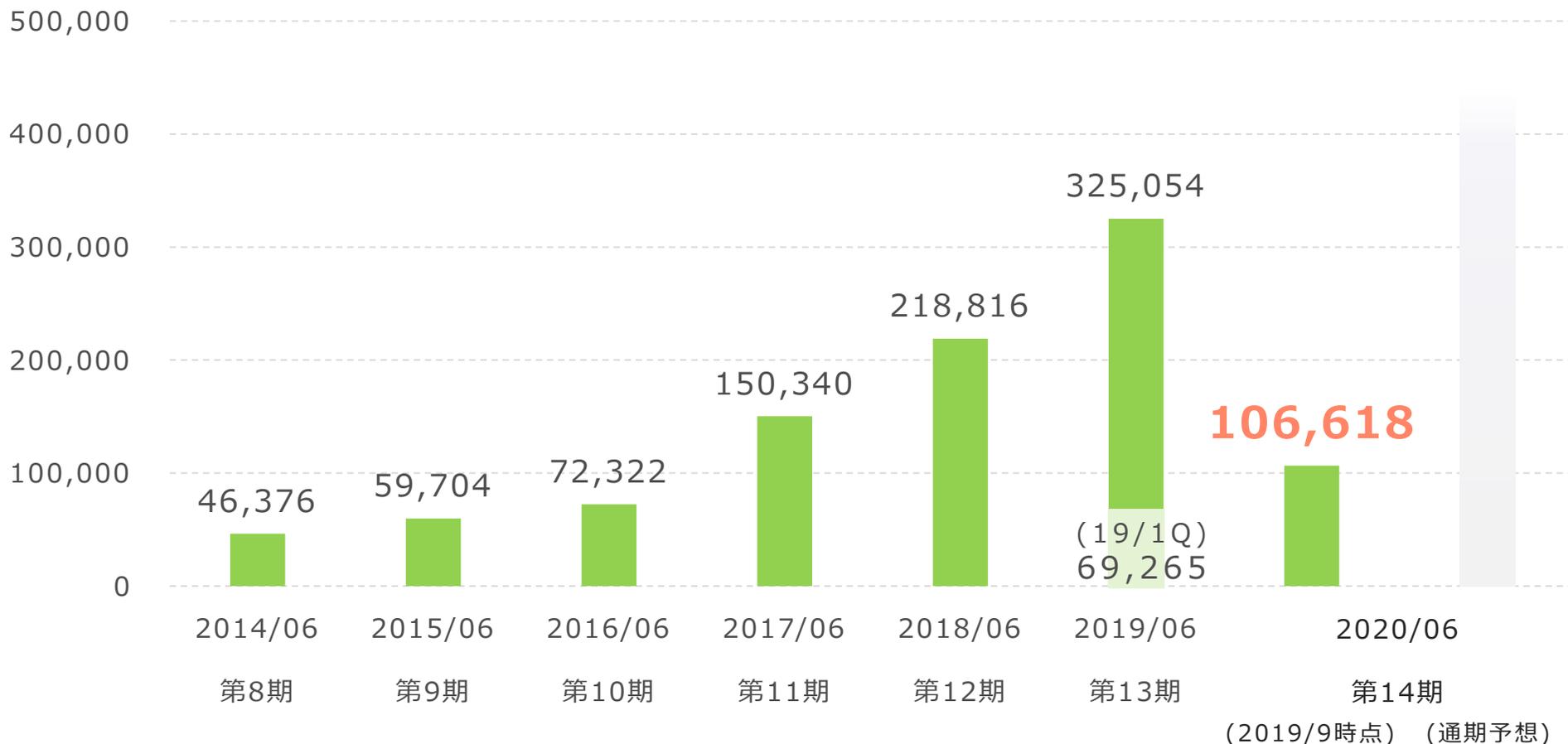


# ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

新規案件、既存案件とも主要顧客の利用好調が続いており、1Qで1,000億円を超過  
今期末には4,000億円に到達する見込み

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移 ※海外含む>

(百万円)



## 事業別業績：ブランドプリペイド

前期末の状況（イシュー・提携先追加未実施・既存サービスの一部縮小に伴う売上減）は継続  
今期は状況を維持しつつ、次の事業拡大機会に向けた準備を進める

(百万円)

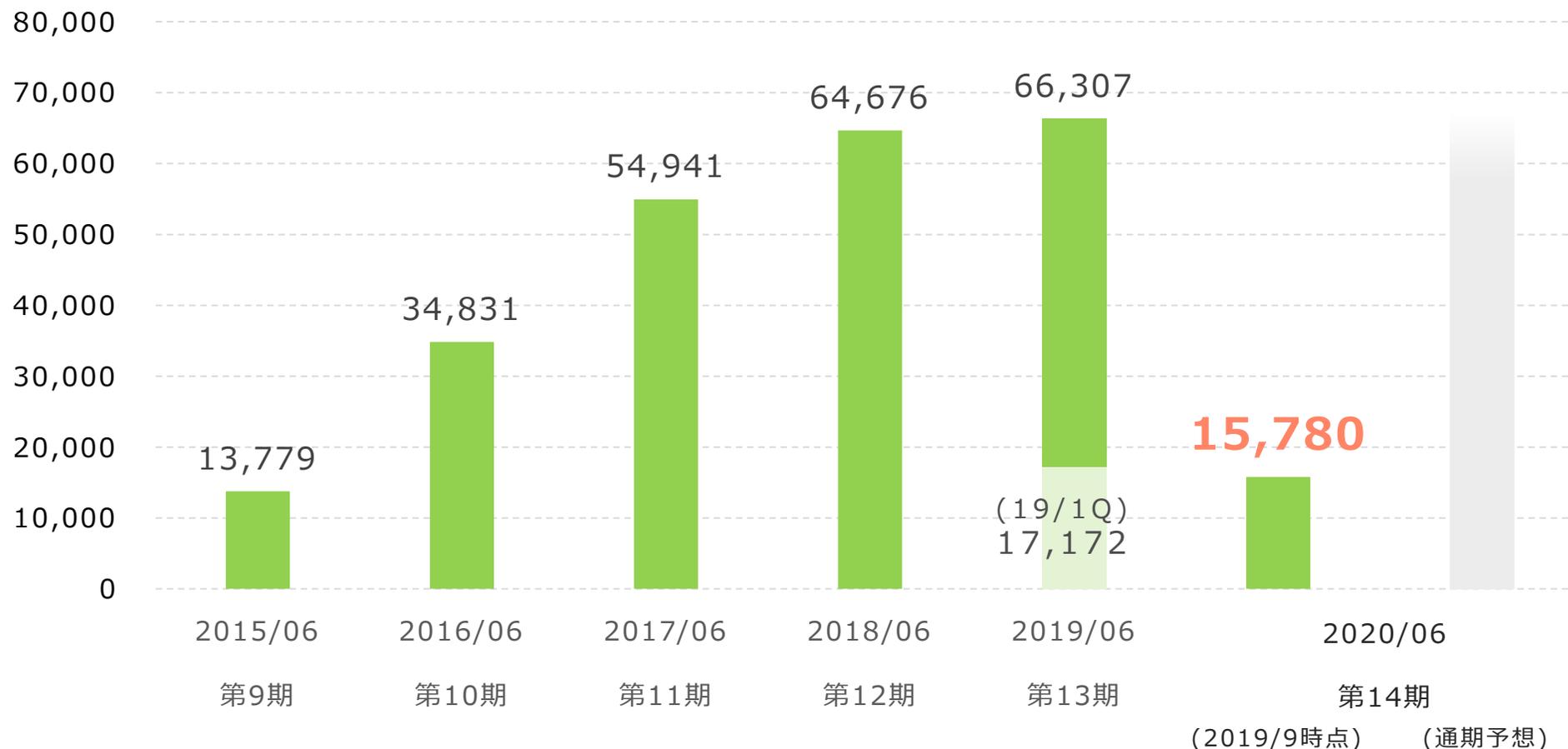
	① 2020年6月期 第一四半期	② 2019年6月期 第一四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	38	44	85.0%
(初期売上)	0.3	1	35.1%
(システム利用料売上)	38	43	86.1%
セグメント損益	▲6	▲3	▲3百万円

# ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

各サービスとも利用状況は横ばい～やや減。7月・8月の利用が少なく前年比8%減

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



## 事業別業績：海外

シンガポール、タイ等で導入店舗増によりシステム利用料売上が増加

各国、プリペイドと関連した新規サービスの立ち上げによりプリペイド利用の活性化を目指し活動中

(百万円)

	① 2020年6月期 第一四半期	② 2019年6月期 第一四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	12	9	130.8%
(初期売上)	3	3	126.7%
(システム利用料売上)	9	6	132.5%
セグメント損益	▲17	▲23	+6百万円

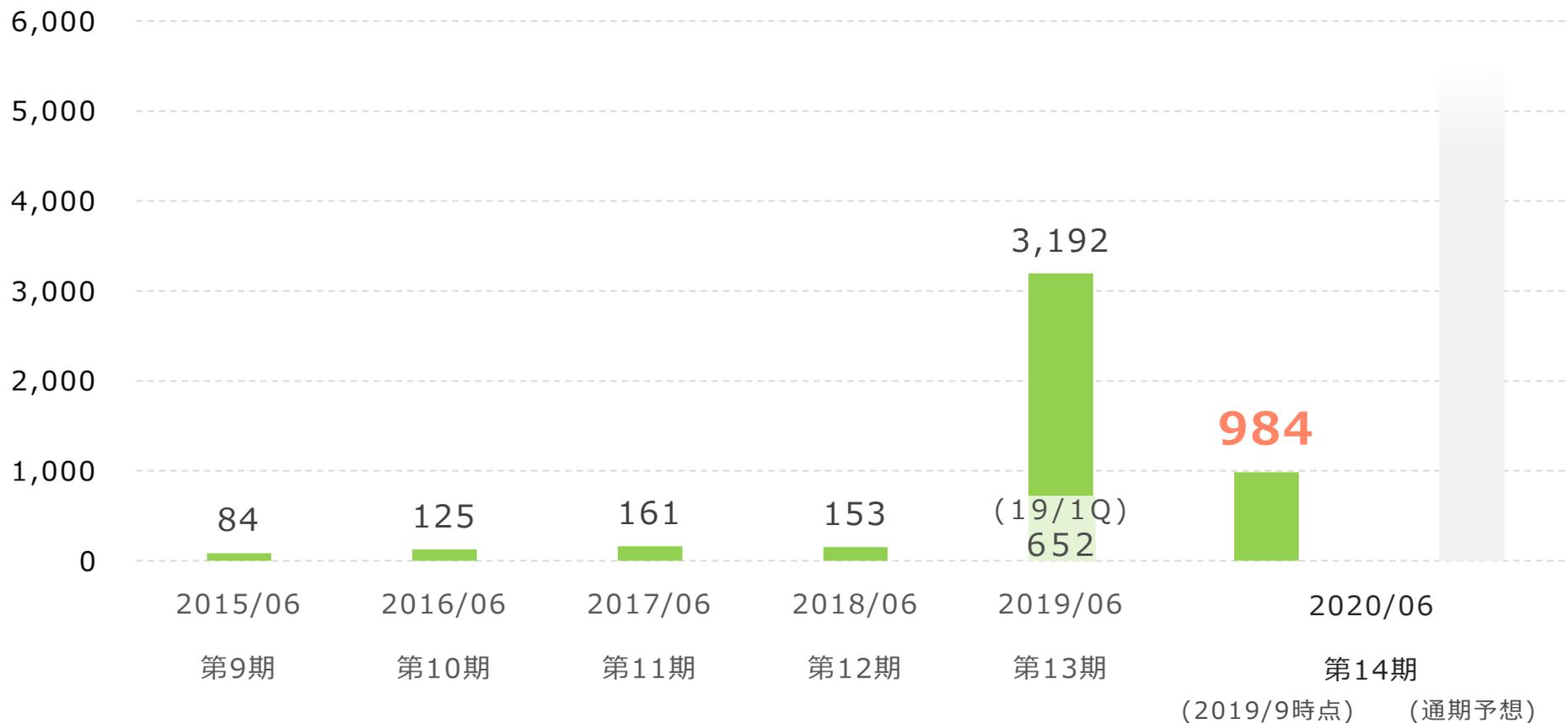
(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当業績は前出のハウスプリペイドの業績に含みます。

# 事業別業績：海外

既存案件における導入店舗増等の効果により、前期比50%増

<海外単独の年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当実績は前出のハウスプリペイドの実績に含みます。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。